

【事務所】

船橋市前原西8-24-8
 ☎490-3333 FAX 465-7117
 Eメール hiroei@muc.
 biglobe.ne.jp
 ホームページ http://www.
 hiroei.jp



「活きていることわざ」

船橋市議会議員（無所属・3期）
 神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

麻（あさ）の中の蓬（よもぎ）・千載一遇（せんざいいちぐう）

【麻の中の蓬】◇良い友に交われば、その感化を受けて自然に良い人になるたとえ。

- ・麻の茎は真っすぐなので、蓬などの本来曲がりやすいものでも、その中に生えれば曲がらずに生長する。

【千載一遇】◇またとないよい機会。絶好の機会、ということ。

- ・千年に一度出会う、の意。

今回は、3月議会で私が行った質疑の一部と議会の四方山話（よもやばなし）を報告します。

町会・自治会会館設置費補助金について

この補助金の交付要件が大幅に見直されました。

- ①建築の延べ面積が30～200㎡だったのが、30㎡以上の上限なし。
- ②建築補助金額の㎡単価が、木造118,400円、鉄骨造133,800円、鉄筋造157,900円×延べ面積×10分の8だったのが、構造は問わず、工事費の10分の8は変わらず、限度額が2000万円になりました。



平成27年度に新築や建て替えを予定する4つの町会・自治会の工事費を見て驚きました。これらは全て木造です。

A町会は、延べ面積が172.24㎡（52.1坪）で、坪あたりの単価が725,527円。

B自治会は、延べ面積が100.50㎡（30.4坪）で、坪あたりの単価が497,368円。

C自治会は、延べ面積が99.15㎡（30.0坪）で、坪あたりの単価が493,666円。

D自治会は、延べ面積が32.00㎡（9.6坪）で、坪あたりの単価が941,318円。

となっていました。Dは建物が小さいから割高になるのは理解できますが、AはBとCと比較して建物が大きいのに単価が高くなっているのはおかしくないのか、補助金があるとはいえ、町会・自治会負担の軽減と、補助金も少なくできるよう、数社から見積もりをとって検討するよう指導すべきである、と指摘しました。

芝山第3調整池について

東葉高速鉄道飯山満駅の芝山方面左側すぐに、池だけで18,456.04㎡、さらに北西部に隣接する5,976.75㎡の運動広場が、URから市に移管されます。市内や他市の駅そばに、合計24,432㎡もの「水辺空間」がある駅はありません。



ここに、貸しボートでボート遊びできるように、堤に桜を植樹しベンチを置いて憩いの場にしてはどうか。また大きな池の真ん中に、ひょっこりひょうたん島のような島を造り、橋を架けて渡れるようにするなど、夢のあるものにしたらどうか聞きました。

→ 下水道部長の答弁

貴重な都市空間であり、地元の町会・自治会の意見を取り入れながら、議員の提案も参考にして進めてまいりたいと考えています。

議会の四方山話（よもやばなし＝さまざまな話、雑談）

今年は4年に1度の統一地方選挙の年です。まず前期の千葉県議会議員選挙が終わりました。続いて4月19日告示の市議会議員選挙があります。聞くところによりますと、以前は船橋市長選挙も同時に行われていました。現在は2年ごとに市長選挙と市議会議員選挙となっ

ています。1回の選挙では、ポスター掲示板や多くの人件費、印刷費などで1億円以上の支出となっていますから、選挙が一緒なら1回分経費節減になります。

現在は松戸市長、その前が藤代孝七市長、その前が大橋和夫市長、その前が藤代七郎市長でした。その藤代七郎市長が任期半ばで倒れられました。そのために約2年の差が生じて現在に至っています。



さて、私たち議員が審判を仰ぐ**市議会議員選挙**の投票日は26日です。今回は、現職議員50人のうち14人が引退や県議会選挙に立候補され、または国会議員とされています。現職の36人が立候補します。以前議員だった人が3人、そして、なんと38人の新人が立候補予定とのことです。立候補の締め切りが告示日(19日)の午後5時なので、この数字は流動的ではありますが、77人以上による**厳しい戦い**がまもなく始まります。

投票日の翌々日の28日には当選者に当選証書が付与されます。連休明けの5月8日が会派届け提出期限となっており、この日以前に新人議員に対して会派への争奪戦があり、より多くの議員を会派に抱えたい思惑でみんな行動しているようです。

以外と知らない方が多くおられますが、当選した50人で、トップ当選でも最下位当選でも議員としての権利・権限は全く同じです。トップ当選したとって議会の地位が一番上とは限りません。しいて言えば、心・気持ちの問題だけです。



私が尊敬する同郷の苦勞人田中角栄元首相は「**数は力なり**」と常々言っていました。自分たちの考える政策を実現するためです。また、所属議員数が多いと、議長や各委員会の委員長ポスト、重要ポストを狙うのに非常に有利になります。それで**多数派工作**が始まるのですが、特に新人議員の方は『**麻の中の蓬**』を心して戴きたいと思います。

議会で一番権威があるといわれる議長は、保守系会派が順送りの傾向があります。地方自治法では議長・副議長の任期は議員の任期となっています。つまり最大4年間できることになっていますが、船橋市議会は、是非は別にして、できるだけ多くの人が議長職につけるように1年交替が通例となっています。中には2年した人もいます。

ところで最近、こんなことがありました。議会運営委員会で「議場は質疑の場である。自分の父は引退する最後の議会で、質問のために登壇する際に、議長の許可を得て各位にお礼の挨拶をした。皆さんの会派でも引退される方にこのことを伝えるように」ということでした。この言葉の裏には「引退を決意され、最後の登壇でお礼の挨拶をする場合は、議長の許可を得るようにせよ」というようにしか聞こえませんでした。誰かが言わせたのか、発言した人の意向なのか知りませんが、質問を終え最後の数分だけ、今までのお礼の挨拶するのは、その方の心から発する思いではないのでしょうか。人の心まで縛るのは少し行き過ぎです。

さて、いよいよ統一地方選挙の後期、船橋市議会議員選挙が始まります。下記の表は過去4回の市議会議員選挙の**投票率**です。多くのメディアが報じる国政選挙に比べて低投票率となっています。本来であれば一番身近な選挙の筈なのですが、期待感が薄いのか、私たち議員の能力資質に問題があるのか、深刻な事態だと思います。



しかし、あなたの一票が市政・議会を必ず変えます。特に今回の市議選は『**千載一遇**』の機会です。期待を持って投票所に足を運んでください。

投票率の変遷(単位:人)

投票日	当日有権者数	投票者数	不在者数	期日前投票数	投票率
平成11年4月25日	428,331	192,860	9,559	—	45.03%
平成15年4月27日	444,946	169,892	11,762	—	38.18%
平成19年4月22日	461,895	195,478	1,216	19,082	42.32%
平成23年4月24日	484,006	184,259	1,611	23,408	38.07%
平成27年4月26日	約501,630	—	—	—	?%